

360°録画ドライブレコーダー

取扱説明書

Ver1.06

DVR-360-2NR



このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

DVR-360-2NR 起動時のご注意

本体の起動中に電源の抜き差しやエンジンの ON/OFF を短時間で繰り返さないでください。エンジンを OFF にしても本体が起動していることがあります。本体起動中にエンジンを OFF にしてしまった場合、手で電源を切るか、エンジンを ON にして録画状態になったことを確認してから、エンジンを OFF にしてください。

※ 本体がフリーズした場合はリセットボタンを押してください。

◆専用ビューアーは本体で録画開始すると自動的に SD カード内に生成されます。

目次

お使いになる前に	3
安全上のご注意	4
microSD カードご使用に関する注意事項	7
各部の名称とはたらき	8
内容物の確認	9
取り付け上の注意事項	10
ドライブレコーダーを取り付ける	11
ドライブレコーダーを使う	13
液晶画面の表示について	14
ライブ映像の表示の種類	15
録画ファイルの再生	16
メニュー画面表示 (各種設定画面)	18
フォーマット / リセット (初期化)	19
録画の種類	20
microSD カード内ファイル構成	21
録画時間の目安	22
製品仕様	23

【付属】 DVR-360-2NR ビューアー説明書

お使いになる前に

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は常時録画及び車体に受けた衝撃を検知して、その衝撃の前後の映像を記録する装置です。本製品を正しく安全にお使い頂くために、本書を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。また、取扱説明書の内容は予告なく変更することがございます。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードしてご利用ください。

本製品について

- 本製品は常時録画及び衝撃を検知して映像を記録する装置ですが、軽い衝突事故でセンサーが作動しなかったり、事故で電源ケーブルが外れて電源供給が止まった場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。弊社では映像が記録されなかった時の責任は一切負いません。
- 本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED 式の信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本製品で撮影すると点滅したり、消灯したりしているように撮影されることがあります。信号機が映らないことに際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品で記録した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。撮影した映像に関するトラブル等に際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 夕暮れ時等、照明装置の状態（スモールライト等）によっては映像が映りにくい場合があります。
- 本機は GPS を付属していないため、ご使用前に必ず日時設定を行ってください。長期間使用しない場合は、日時がずれることがあります。1ヶ月に1回程度、日時設定を行ってください。
- 駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。車両側のバッテリーチェックは定期的に行ってください。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも、弊社や販売店は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止



指示



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



運転中に本製品を操作しないでください。運転中に本製品を操作すると道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大変危険です。



本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や改造を加えると感電・故障の原因となります。



本製品から煙が出たり異常に発熱しているときは、ただちに使用を中止し、電源ケーブルを抜いてください。



電源ケーブルを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



電源ケーブルを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。ケーブルが傷つくと火災・感電の原因となります。



窓付近等の水がかかる恐れがある場所に設置しないでください。本製品は防水仕様ではありません。水がかかると故障や火災・感電の原因となります。



運転や視界の妨げになる位置に取り付けしないでください。交通事故の原因となります。



エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。また、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



注意

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がケガをしたり、物的損害が発生したりする可能性があります。



本製品に強い衝撃を与えたり、高い所から落としたりしないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。



本製品をお手入れする場合は、電源ケーブルを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・化学雑巾等の薬品類は使用しないでください。



振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。



エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。



本製品を取り付けする時は、必ず付属の取り付け部品を使用してください。指定以外の部品を使用すると本製品が損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりすることがあり危険です。



電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。



本製品は12Vまたは24Vマイナスアース車専用です。それ以外の車には使用しないでください。



本製品は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。



電源がオン状態または、録画中に microSD カードを取り出すと記録データと microSD カードが破損する可能性があるため注意をしてください。



本製品は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。



万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いません。



本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。



記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

●内蔵電池の取り扱いについて



本製品は充電電池を内蔵しています。充電電池は、有機溶媒などの可燃物を使用していますので、取り扱いを誤りますと破裂、発火、発煙の恐れ、性能低下、故障の原因となります。次の禁止事項を必ずお守りください。



本製品は充電電池を内蔵しています。お客様ご自身では交換できません。お客様による交換は危険ですから絶対におやめください。



火のそばや、炎天下などでの充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、充電電池内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。



強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。充電電池に組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、充電電池内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。



充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。充電電池を漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。

●本商品をご使用されなくなった場合の処分方法について



本商品に内蔵されている充電電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。

●駐車録画（駐車モード）に関する注意事項

駐車モード設定中はエンジンを切っても本体の電源は切れません。

駐車録画（駐車モード）は車両の常時電源を使用する為、車両バッテリーへの負荷が掛かります。以下に示す3項目に該当するお客様は、車両バッテリー上がりの原因となりますので、駐車録画（駐車モード）の使用を控えて頂く事をお勧めします。

● 毎日運転しない方

● 1日の走行が1時間以下の方

● 車両バッテリーを1年以上使用している方

上記は参考基準であり、お客様のお車及びバッテリー容量等によってはこの限りではございません。お車によってエンジンスタートに必要な電圧が異なりますので、メーカー等にご確認頂きご理解の上、駐車録画（駐車モード）の機能をご使用ください。

※注意

定期的に車両バッテリーの点検を行ってください。駐車録画（駐車モード）による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。

microSD カードご使用に関する注意事項

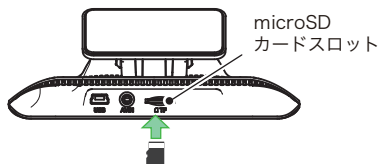
もしも事故が起きたら・・・

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずエンジンを（電源を）オフにして microSD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

microSD カードご使用に関する注意事項

- 推奨された付属の microSD カードをご使用ください。推奨以外のカードでは映像保存が正常に行われないなどの不具合が発生する場合があります。その場合には動作の保証はいたしかねます。
- microSD カードの出し入れは、かならずエンジンを停止し LED ランプが消灯してから行ってください。microSD カードに記録された映像が消失する場合や、破損する場合があります。
- なお、データは上書きまたは消去されますので、重要な映像は他の媒体へバックアップすることをお勧めします。

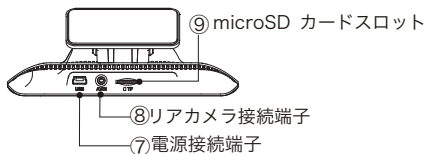
- microSD カードは指定した方向へ正しく挿入してください。



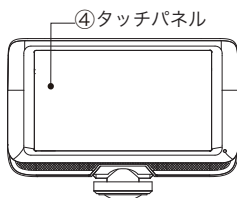
- 安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めします。（19 ページ参照）
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カード（推奨品）への交換をお勧めします。長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合があります。
- microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いかねます。
- フォーマットは必ず本機で行ってください。

各部の名称とはたらき

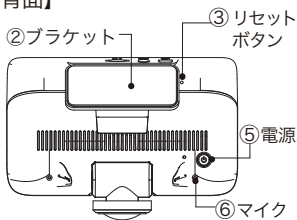
本体カメラ



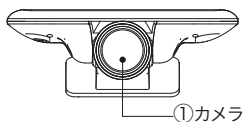
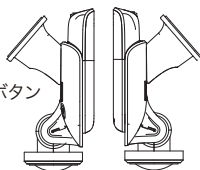
【前面】



【背面】



【側面】



- ①カメラ
- ②ブラケット
- ③リセットボタン
- ④タッチパネル
- ⑤電源ボタン
- ⑥マイク
- ⑦電源接続端子
- ⑧リアカメラ接続端子
- ⑨microSD カードスロット

- 本体のカメラ部
- ブラケットを装着
- 先の細い棒などで押すとシステム再起動
- 液晶録画映像や設定を表示
- 製品の電源オン / オフ
- 音声録音用のマイク穴
- 電源ケーブルを接続
- リアカメラを接続
- microSD カード挿入口

内容物の確認

セット内容

- 本体カメラ



- 取付ブラケット



- 電源（配線）ケーブル



- リアカメラ + 接続ケーブル ※リアカメラ接続側には、ケーブルに「Rear」表示があります。逆に接続するとリアカメラ映像が録画されません。



本体カメラ側へ接続

- 取扱説明書



- 保証書



- microSD カード (32GB)
& カードアダプター



※ 専用ビューアーは本体で録画開始すると自動的にSDカード内に生成されます。

ご使用前に

■ 専用ビューアーソフトのシステム要件

以下のシステム要件を満たしていないパソコンでは使用できません。

- ・ プロセッサ：Intel Core i5（第6世代以降）以上
- ・ メモリー：4GB 以上
- ・ オペレーティングシステム：Windows 8/8.1/10（64ビット推奨）
- ・ その他：DirectX 9.0 以降 / Internet Explorer のバージョン 7.0 以降

※ このシステム要件に記されている以外のオペレーティングシステムを実行しているパソコンでは、専用ビューアーが正しく機能しません。

※ 条件を満たしたすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

取り付け上の注意事項

本機は製品特性上、カメラがしっかりと正しい位置に固定されることが非常に重要です。取り付け作業にあたっては本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- 油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中に剥がれる恐れがあります。市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。
- 雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高い時はテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなる場合があります。できるだけ好天候の日に取り付けしてください。
- 付属の両面テープは粘着力が強いので、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直ししないで済むように取り付け位置は慎重に決めてください。
- 貼り付けが完了したら、ブラケットをしっかりと押さえつけて気泡等の貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。
- 取り付けが完了してから24時間はできるだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。
- 本機の設置作業は必ず平らな場所で行ってください。Nレンジで車が動いてしまうような傾斜地での作業は絶対に行わないでください。
- 取り付け位置は車両フロントガラス上部20%以内の位置で、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本機に当たらない位置に取り付けてください。
- 付属のmicroSDカードが容易に抜き差しできる位置に取り付けてください。
- 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- フロントガラスの着色部分（セラミックラインなど）が映らないように、取り付けてください。また、雨天時、撮影範囲がワイパーで水滴を拭き取れる位置に取り付けてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合、車載カメラ装置などが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ラジオやテレビアンテナの近くで使用すると、ラジオ雑音やテレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けた位置に取り付けてください。
- スマートキー電波受信機などの近くに設置すると電波干渉が起きてキーが効かなくなる場合があります。なるべく各受信機の近くに設置しないでください。

ドライブレコーダーを取り付ける

[設置・電源ケーブル配線時のご注意]

車両に TV フィルムアンテナがある場合、本体または各ケーブルを離して設置してください。

本体カメラ設置

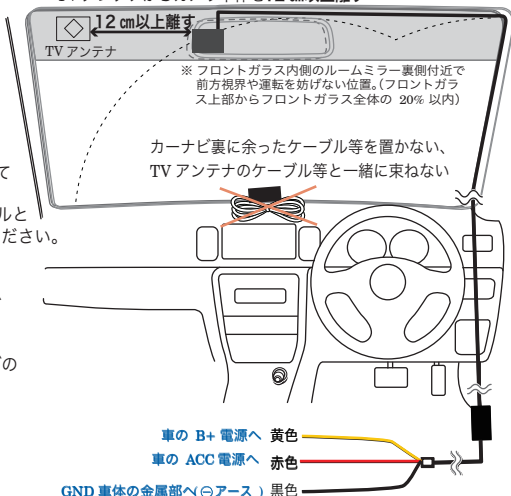
TV フィルムアンテナから本体を12 cm以上離して設置してください。

電源ケーブルは TV フィルムアンテナから10 cm以上離して配線してください。
TV フィルムアンテナケーブルと逆方向に引き回り配線してください。

また、TV フィルムアンテナケーブルと一緒に束ねないでください。

電源の配線は内部でカーナビの近くに余ったケーブル類を束ねないでください。

TV アンテナからカメラ本体を12 cm以上離す



リアカメラ設置

リアガラスの内側中央の最上部付近にレンズを車外(後方)に向けて設置してください。

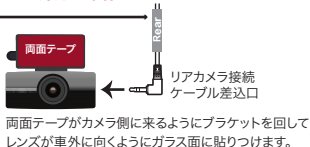
TV アンテナが後方にある場合リアカメラ接続ケーブルを10 cm以上離す



※脱脂クリーナーなどでリヤガラスを清掃し、よく乾かした後に貼付けてください。

リアカメラを本体カメラと接続してください。

[Rear] と表示されているほうのプラグをリアカメラ側へ差し込んでください。
もう片方を本体カメラに差し込んでください。※逆に接続するとリア映像が録画されません。



ブラケットの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、取付角度を調整し調整後にネジを締めてください。



リアカメラの上下の角度は本体ドライブレコーダーの液晶画面で後方車のナンバーが確認できるように調整してください。

リアカメラが映らない時は

リアカメラ接続ケーブルをしっかりと本体へ差し込んだ後、再起動してください。

注意：リアカメラを取付けする際はリアカメラ接続ケーブルを強く引っ張らないでください。
強く引っ張った場合(約5kg以上)、断線や破損する場合があります。

ドライブレコーダーを取り付ける (つづき)

⚠ 注意 電源ケーブル (配線タイプ) の取り付けは、専門の知識が必要になります。取り付けはお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。

取り付け (取り外し) や配線は、専門技術者に依頼する

必ず、付属品や指定の部品を使用する

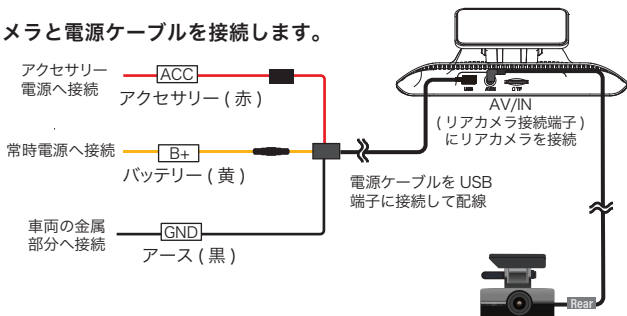
! 誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

! 機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

【電源ケーブルの配線のしかた】

⚠ 注意 接続作業を行うときは、初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。

カメラと電源ケーブルを接続します。



【仮留め・テスト録画】

しっかり貼り付ける前に、いったん仮留めをしてテスト撮影し、液晶画面で確認してください。映像が水平に映っているか、撮影角度が上過ぎたり下過ぎたりしていないか確認してください。問題無いようであれば本取り付けを行います。



【取り付け方法】 ブラケットをフロントガラスに両面テープで取り付けます。



1 取付ブラケットをはめ込み「カチッ」という音がするまでスライド挿入する

2 両面テープのハクリ紙をはがしてブラケットをガラス面に貼りつける

3 ブラケットの角度を調整してネジで固定する

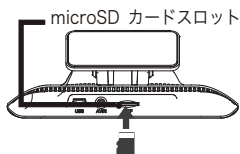
4 レンズの角度を調整し電源、リアカメラのケーブルを配線し micro SD カードを挿入する

※フロントガラスを脱脂クリーナーなどできれいに清掃した後に取り付けてください。

ドライブレコーダーを使う

microSD カードを差し込んでエンジンをかければ、本機の電源がオンになります。電源が入ると自動的に録画がスタートします。

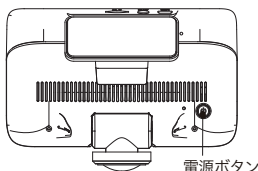
1) 電源を入れる前に microSD カードスロットに microSD カードを挿入する



! microSD カードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

- ・弊社が推奨する microSD カードを使用してください。
- ・microSD カードをフォーマットする場合、必ずドライブレコーダー本体でフォーマットしてください。

2) 車のエンジンをかける (ドライブレコーダーの電源がオンになります)



エンジンをかけた状態で電源ボタンを 2 秒以上長押しすると電源が切れます。再び、電源ボタンを 2 秒以上長押しすると電源が入ります。電源をオフにすると録画できません。

(録画中液晶表示)



(録画停止中液晶表示)



3) 常時録画を開始


①常時録画 (自動録画モードオフの場合 をタッチして録画開始)

車両のエンジンをかける (本体に電源が入る) と撮影を開始します。録画中は、液晶画面上に REC ● が点灯します。常時録画の本体カメラの映像は microSD カードの A フォルダに、リアカメラの映像は B フォルダに保存されます。

②衝撃検知による録画 (衝撃録画)

本体内部の G センサーが衝撃を検知すると、衝撃後の約 10 秒を衝撃録画として (本体カメラ、リアカメラの両方とも) sos フォルダに保存されます。

③手動録画

録画中、液晶メニューの  をタッチすると、タッチした後の約 10 秒を microSD カードの (本体カメラ、リアカメラの両方とも) sos フォルダに保存します。

④録画停止

車両のエンジンを切ると自動的に録画が停止します。電源オン時に電源ボタンでオフにしても録画を停止します。再び電源ボタンでオンにすると電源が入って録画を再開します。

4) 駐車録画 [オフ、3、6、12、24 時間の時間設定]

- ・オフ設定：エンジンを切ったら録画終了
- ・3、6、12、24 時間の時間設定可能 (既定電圧以下になると録画を停止します)
エンジンを切ってから設定時間まで、タイムラプス録画※が可能

※タイムラプス録画はフレーム数 1FPS/秒または、2FPS/秒を選択できます。(初期値 2FPS/秒)
通常の録画は 1 秒間に 24FPS で撮影しています。

駐車録画の映像は、本体カメラは microSD カードの A フォルダにリアカメラは B フォルダに保存されます。

液晶画面の表示について

5) 液晶画面 ライブ映像画面：本体起動後、録画中の画面が表示されます。


録画中画面














メニューが表示されていない場合は画面をタッチしてください。約10秒で自動的にメニューは非表示になります。

録画停止中画面



 をタッチすると録画を停止。下画面メニューになります。

表示の見方

- ①現在の時刻を表示
- ②録画中は **REC**●の文字表示（赤丸は点滅）
- ③  録画中、アイコンが赤く点灯し、1ファイルあたりの録画時間を表示。録画中にタッチすると録画停止、アイコンが⑧  の表示になる
- ④  タッチすると表示されている画面の静止画を撮影（本体カメラのみ）
- ⑤  タッチすると赤く点灯し、約10秒間、手動録画として保存
- ⑥  画面の表示モードメニューを開く（15ページ参照）
- ⑦  バッテリー残量を表示
- ⑧  録画停止状態は、白いアイコン表示（タッチすると録画開始  ）
- ⑨  録画ファイルの再生メニューを開く（16ページ参照）
- ⑩  メニュー画面表示（18ページ参照）
- ⑪ リアカメラ画面（タッチすると全画面になる）
- ⑫ ●SOS  で手動録画時、または衝撃時に ●SOS 表示

≡ ライブ映像の表示の種類

≡ をタッチして液晶画面の表示モードを選択します。



- ① ワイドアングルモード
- ② 球面モード
- ③ フロントバックモード
- ④ マルチウィンドウモード

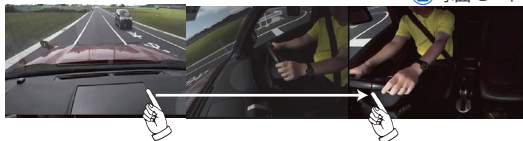
① ワイドアングルモード

①ワイドアングルモード：
カメラレンズを前方（車外）に向けて広角に撮影します。



②球面モード：
カメラレンズを下向きにして全方位を円形に撮影します。
液晶画面をタッチしてスライドすると映像表示が 360°移動します。

② 球面モード



③ フロントバックモード

③フロントバックモード：
全方位の撮影範囲を、前後に 2 分割して表示します。
液晶画面をタッチしてスライドすると映像表示が 360°移動します。




④ マルチウィンドウモード

④マルチウィンドウモード：
全方位の撮影範囲を、前後左右に 4 分割して表示
します。液晶画面をタッチしてスライドすると映像
表示が 360°移動します。



録画ファイルの再生

 をタッチして録画ファイルを再生します。

1. 映像または画像を表示する項目をタッチして選択します。

- ① フロントカメラ映像
- ② リアカメラ映像
- ③ 静止画

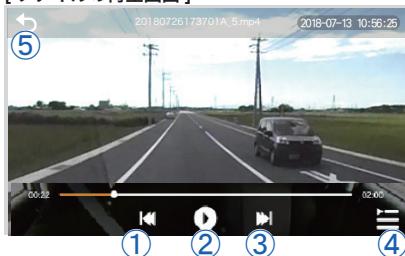
2. 表示したいファイルにタッチします。



3. [ファイルの再生画面]

- ① 次の動画を再生
- ② 再生の一時停止 / 再生
- ③ 前の動画を再生
- ④ 画面の表示モード
- ⑤ 前の画面に戻る

[ファイルの再生画面]



4. [画面の表示モード]

- ① ワイドアングルモード
- ② 球面モード
- ③ フロントバックモード
- ④ マルチウィンドウモード

②、③、④の再生画面は、指でスライドすると360°画面が切り替わります。

[画面の表示モード]



録画ファイルの再生

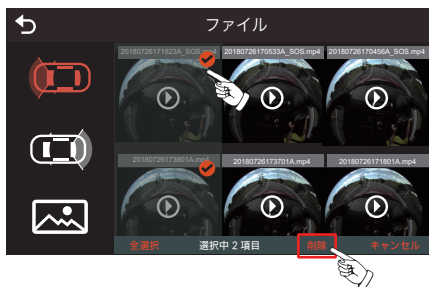
4. [ファイルの削除]

はじめにファイルを2秒以上長押しするとファイルが選択できます。

そのまま、続けてほかのファイルも選択できます。

✓選択後、削除をタッチしてファイルを削除します。


キャンセルで前画面に戻ります。



 で前画面に戻ります。



メニュー画面表示（各種設定画面）

録画停止時、設定ボタンをタッチしてメニュー画面を表示します。

設定	設定項目	設定値	初期値
録画設定	常時録画	1分 / 2分 / 5分	2分
	Gセンサー感度	鈍感 / 標準 / 敏感	標準
	駐車録画フレーム数	1FPS/秒 / 2FPS/秒	2FPS/秒
	駐車録画時間	オフ / 3時間 / 6時間 / 12時間 / 24時間	オフ
	周波数	50Hz / 60Hz	50Hz
	自動録画モード	オン / オフ	オン
	音声録音	オン / オフ	オン
	リアカメラ	正像 / 鏡像	正像
画面消灯設定	オフ / 1分 / 2分 / 5分	オフ	
システム設定	明度設定		左図
	音量設定		左図
	日時設定	日時をタッチして設定	
	システム	フォーマット / リセット	
	ファームウェア	ファームウェアバージョン	

【録画設定】画面の録画設定をタッチして設定します。

←

設定



録画設定

 常時録画	<input type="radio"/> 1分	<input checked="" type="radio"/> 2分	<input type="radio"/> 5分
 Gセンサー感度	<input type="radio"/> 鈍感	<input checked="" type="radio"/> 標準	<input type="radio"/> 敏感
 駐車録画フレーム数	<input checked="" type="radio"/> 1FPS/秒	<input type="radio"/> 2FPS/秒	
 駐車録画時間	<input checked="" type="radio"/> オフ	<input type="radio"/> 3時間	<input type="radio"/> 6時間
 周波数	<input checked="" type="radio"/> 50Hz	<input type="radio"/> 60Hz	
 自動録画モード	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ		

↓タッチしてスライドすると下画面へ進みます。



システム設定

<input type="radio"/> 1分	<input type="radio"/> 2分	<input type="radio"/> 5分	<input checked="" type="radio"/> オフ
 音声録音 <input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ			
 リアカメラ <input checked="" type="radio"/> 正像 <input type="radio"/> 鏡像			
 画面消灯設定 <input checked="" type="radio"/> オフ			

画面消灯設定は別画面で選択（オフは電源オン時、液晶画面が消灯しません）



フォーマット / リセット (初期化)

録画停止時、設定ボタンをタッチしてメニュー画面を表示します。



【システム設定】画面のシステム設定設定をタッチして設定します。



フォーマット

システムのフォーマットをタッチして microSD カードをフォーマットします。



注意

フォーマットすると microSD カードの記録ファイルは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

※ 安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めします。

※ microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カード (推奨品) への交換をお勧めします。長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合があります。

※ microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いかねます。

リセット (初期化)

システムのリセットをタッチして設定を工場出荷状態の初期値に戻します。

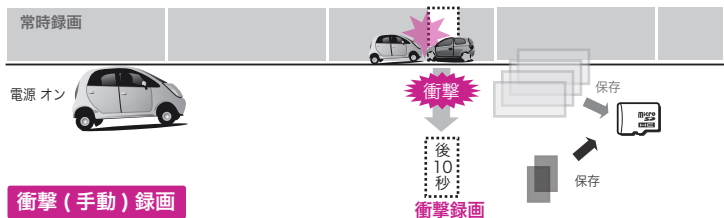
録画の種類

電源オンで常時録画+衝撃録画がスタートします。

常時録画

電源オンからオフまで常に録画を続けます。本体カメラの映像は microSD カードの A フォルダに、リアカメラの映像は B フォルダに保存されます。容量がいっぱいになったら古いファイルから上書きされます。

※常時録画の 1 ファイルの容量は約 1 分、2 分、5 分から選択可能



衝撃（手動）録画

衝撃時（G センサーが衝撃を検知したとき）や手で録画したときは、1 ファイル約 10 秒（衝撃後約 10 秒）のファイルが Event フォルダに保存されます。

（本体カメラ、リアカメラの両方とも）sos フォルダに保存されます。

sos フォルダのみで容量がいっぱいになったらフォーマットしてください。

電源オフで常時録画+衝撃録画を終了します。

駐車モード タイムラプス録画のみ

車両のエンジン停止後、タイムラプス録画を開始します。

駐車モードは、常時電源から電源を供給するため、カーバッテリーの充電状況が万全でない状態で使用すると駐車録画が途中で中断することがあります。

※電圧が既定値以下になると電源が自動的に OFF になります。

○駐車モードの録画可能時間について【録画設定 / 駐車録画時間】

オフ、3、6、12、24 時間の時間設定ができます。【初期設定 オフ】

○駐車録画のフレーム数について【録画設定 / 駐車録画フレーム数】

1FPS/ 秒と 2FPS/ 秒より選択 【初期設定 2FPS/ 秒】

フレーム数 1FPS/ 秒

1 秒に 1 枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画が行えます。

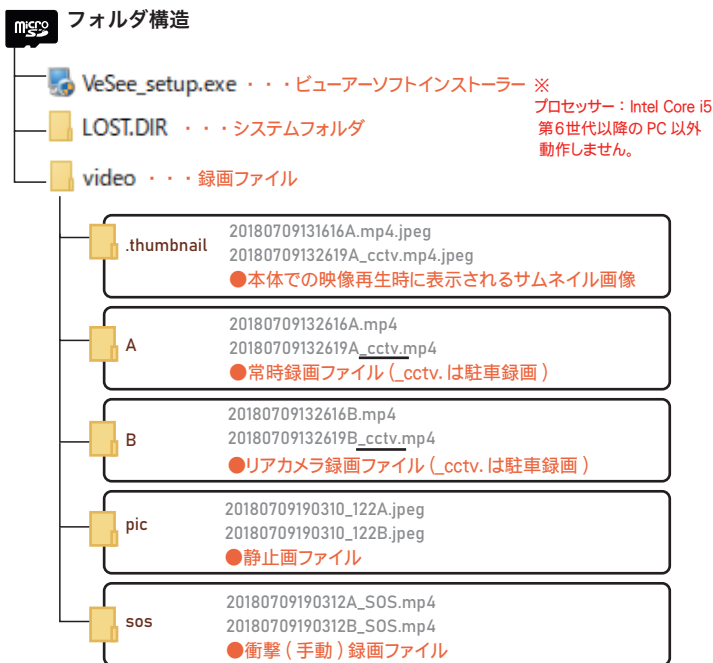
フレーム数 2FPS/ 秒

1 秒に 2 枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画が行えます。

【注意事項】 駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。車両側のバッテリーチェックは定期的に行ってください。

microSD カード内ファイル構成

microSD カードには、下記のようなファイル構成で映像ファイルが保存されます。



（例1）20180709132616A.mp4

2018年7月9日13時26分16秒に本体カメラで常時録画したファイル

（例2）20180709132619A_cctv.mp4

2018年7月9日13時26分19秒に本体カメラで駐車録画したファイル

（例3）20180709132616B.mp4

2018年7月9日13時26分16秒にリアカメラで常時録画したファイル

（例4）20180709132619B_cctv.mp4

2018年7月9日13時26分19秒にリアカメラで駐車録画したファイル

（例5）20180709190312A_SOS.mp4

2018年7月9日19時03分12秒に本体カメラで衝撃（手動）録画したファイル

（例6）20180709190312B_SOS.mp4

2018年7月9日19時03分12秒にリアカメラで衝撃（手動）録画したファイル

録画時間の目安 駐車モードを変更すると自動的に割り当てが変更されます。

microSD カードの録画時間の目安です。(32GB 付属)

※撮影の状況などによって変動する場合があります。

1 カメラ時

microSD	8GB	16GB	32GB	64GB
録画時間	約75分	約150分	約300分	約600分

2 カメラ時

microSD	8GB	16GB	32GB	64GB
録画時間	約60分	約120分	約240分	約480分

※1 カメラ時、解像度：1440×1440、フレーム数：24FPS

※2 カメラ時、解像度：(本体カメラ)1440×1440 (リアカメラ)HD 1280×720、フレーム数：24FPS

※駐車録画時間は、選択が可能

※**駐車録画はバッテリー保護機能があるため、バッテリーの状態により設定値以下の電圧になると電源が遮断され録画を停止します。バッテリーの性能や車両の使用状況により異なり駐車録画の録画時間を保証するものではありません。**

駐車モードは、常時電源から電源を供給するため、カーバッテリーの充電状況が万全でない状態で使用すると駐車録画が途中で中断することがあります。

※電圧が既定値以下になると電源が自動的に OFF になります。

製品仕様

機能・仕様

●外形寸法	本体：約 130(W) × 95(H) × 40(D)mm(ブラケット除く) ブラケット装着時、約 100(H)mm リアカメラ：約 58(W) × 48(H) × 24(D) mm
●重量	本体：約 162g (ブラケット除く) /リアカメラ：約 24g
●液晶サイズ	4.5 インチ タッチパネル (解像度 848×480)
●カメラ	前方カメラ：300 万画素 CMOS (レンズ F 値 F1.8) 映像素子 リアカメラ：100 万画素 CMOS (レンズ F 値 F2.5)
●録画解像度	前方カメラ：200 万画素 (1440×1440) / 24fps / フレームレート リアカメラ：100 万画素 (HD 1280×720) / 20fps
●画角	前方カメラ：水平 約 360°/ 垂直 約 220° リアカメラ：水平 約 124°/ 垂直 約 93°/ 対角 約 155°
●録画機能	常時録画 (1 分 / 2 分 / 5 分・上書き録画あり)、イベント録画約 12 秒、 駐車録画あり、手動録画約 12 秒
●記録データ	映像、音声、加速度センサー
●映像ファイル形式	MP4 ●静止画ファイル形式 JPG
●映像再生	本体液晶、専用ビューアー (動作環境 9 ページ参照)
●LED 信号対応	50Hz/60Hz 信号対応 ●駐車監視モード ON/OFF (タイムラプス)
●駐車監視時間	OFF/3/6/12/24h ●バッテリー保護機能 あり
●WDR	あり ●ナイトビジョン あり
●G センサー	感度 3 段階調整 ●GPS なし
●記録媒体	microSD カード 8 ~ 64GB/Class10 以上, FAT32 ●SD カード管理：定期的フォーマット
●音声録音	ON/OFF 可 ●スピーカー出力 音量はスライド無段階調整
●外部入出力機能	電源：ミニ USB タイプ B ジャック、リアカメラ：φ2.5 オーディオジャック
●電源電圧	DC5V(入力電圧 12V/24V) ●消費電流 約 2A
●内蔵バッテリー	スーパーキャパシタ
●動作温度	本体：-10 ~ 65°C ●保存温度 本体：-20 ~ 70°C
●付属品	ブラケット、デジタル HD リアカメラ、リアカメラ接続ケーブル、 配線電源ケーブル (ACC、B+、GND・電圧監視機能付) microSD カード (32GB)、保証書

・本表の記載は、一般社団法人ドライブレコーダー協議会の表示ガイドラインに基づいています。



DVR-360-2NR 専用ビューアソフト

DVR-360-2NR ビューア説明書

インストールの前に

インストールの前に、お使いのパソコンが次の条件に合っているかどうかを確認してください。

- ・ハードディスクに、使用する microSD カードの容量を超える空きがあること

■ 専用ビューアソフトのシステム要件

以下のシステム要件を満たしていないパソコンでは使用できません。

- ・プロセッサ：Intel Core i5（第 6 世代以降）以上
- ・メモリー：4GB 以上
- ・オペレーティングシステム：Windows 8/8.1/10（64 ビット推奨）
- ・その他：DirectX 9.0 以降 /Internet Explorer のバージョン 7.0 以降

※ このシステム要件に記されている以外のオペレーティングシステムを実行しているパソコンでは、専用ビューアが正しく機能しません。

※ 条件を満たしたすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

インストール後、ビューアソフトが更新をはじめた時

- ・エラーメッセージが出た場合は、アンインストールしてから、アンチウイルスソフトを停止し、再度インストールして、いったん起動してください。その後、アンチウイルスソフトを再開してください。

目次

準備しましょう

ビューアーのインストール方法	3
----------------------	---

使ってみましょう

基本操作	5
ビューアー画面の見方	6

その他の機能

表示調整画面	7
--------------	---

専用ビューアーソフトは本体で録画開始すると自動的に SD カード内に生成されます。

ビューアーのインストール方法

付属の microSD カードにビューアーが保存されています。

- 1 専用ビューアーが格納された付属の microSD カードをパソコンにセットする
専用ビューアーソフトは本体で録画開始すると自動的に SD カード内に生成されます。

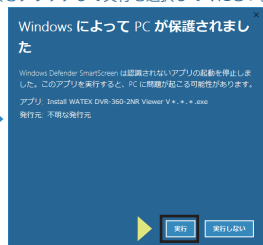
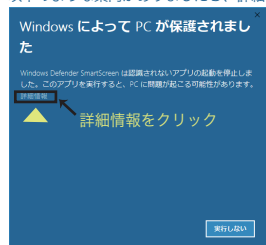
- 2 microSD カードを開き、インストールプログラムをダブルクリックする
[VeSee_setup.exe]



VeSee_setup.exe

ダブルクリック

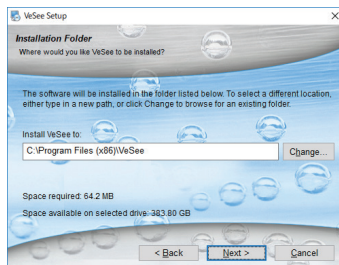
以下のような案内がありましたら、詳細情報をクリックして実行を選択してください。



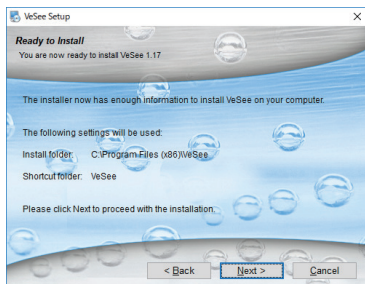
- 3 セットアップ画面が表示されたら、
[Next] ボタンをクリック



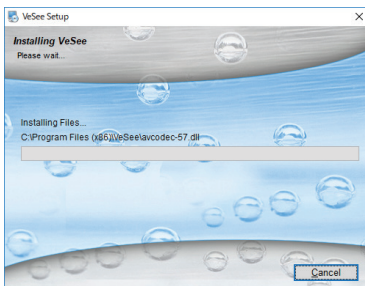
- 4 インストール先フォルダを確認して
[Next] ボタンをクリック



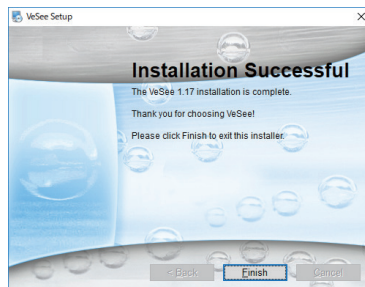
5 インストール内容を確認して
[Next] ボタンをクリック



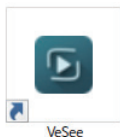
6 インストール画面が表示され
インストール開始



7 インストール完了後、
[Finish] ボタンをクリック



8 ショートカットがパソコンの
デスクトップ上に作成される



基本操作

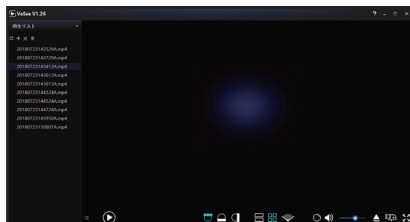
ビューアーの起動

- 1 インストールした専用のビューアーソフト [VeSee] のアイコンをダブルクリックしてビューアーを起動する

ダブルクリック



専用ビューアーのアイコン



専用ビューアーが起動します。

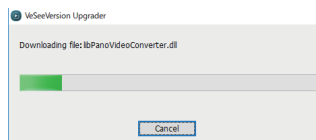
ファイルの読み込み

ドライブレコーダーで録画したファイルをビューアーに読み込みます。あらかじめ録画ファイルが入った microSD カードを用意しておきます。

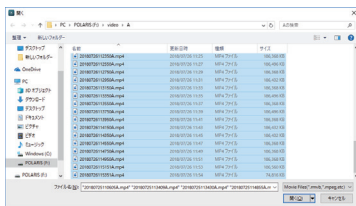
- 1 録画ファイルの入った microSD カードをパソコンにセットする

- 2 ビューアーを起動する

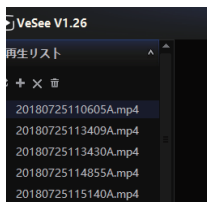
初回起動時更新がある場合、先にアップデートが始まります。



- 3 セットした microSD カードをフォルダ選択画面で選択し、OK ボタンをクリック



- 4 ファイルリストから再生するファイルを選んでダブルクリックする。



ビューアー画面の見方

ビューアー画面について



- ①バージョン表示 / アップデート確認
- ②ダブルクリックで映像ファイルの表示非表示
- ③再生モードの選択
- ④再生リストへの映像ファイル追加
- ⑤映像ファイルを再生リストから個別削除
- ⑥映像ファイルを再生リストから一括削除
- ⑦再生リストウィンドウの表示非表示
- ⑧再生、一時停止ボタン
- ⑨前方上、カメラ下向き
(球面モード撮影時推奨)
- ⑩左右方向、カメラ上向き
- ⑪前方下、カメラ前向き
(ワイドアングルモード撮影時推奨)
- ⑫フロント&バックモード
(球面モード撮影時推奨)
- ⑬マルチウィンドウモード
(球面モード撮影時推奨)
- ⑭ワイドアングルモード
(ワイドアングルモード撮影時推奨)
- ⑮表示調整画面
(次ページに表示)
- ⑯音量調整
- ⑰映像ファイル直接再生
- ⑱映像書き出し
- ⑲全画面
- ⑳ヘルプ
- ㉑最小化
- ㉒画面拡大縮小
- ㉓終了

表示調整画面



映像再生画面に白色部分等が出て映像の見え方がおかしくなっている場合には、

「オート標定」をクリック



「保存確定」をクリックして確定



表示調整を行う






株式会社ワーテックス

〒373-0004 群馬県太田市強戸町162番地13

URL <http://www.watex-net.com/>

お客様サポートセンター係

 **0120-25-3930**

受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30
(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)